

国内有数の豪雪地帯で、中山間地で、
なかつた地方都市の信越県境。
少子高齢化、雪山崩れ：

課題はあれども、
悩みの豪雪が

無二のスノーリゾートを
生み出すように

課題は磨けば光る

魅力の原石でもあるのです。
よく似たおとなりのまちでは、
どうやって

原石をみつけ、
磨いたのでしょう。

そこで、おとなりのまちを、
ちよと拝見。

ひとと知恵を紡いで、
明日の信越県境を

もっとたのしくしませんか。



信越県境 地域づくり交流会

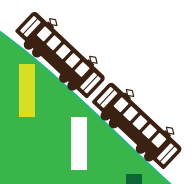
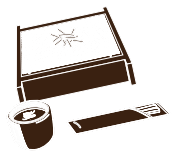
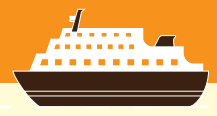
まなぶ・つながる・はじまる

日時：平成 29 年 12 月 9 日 (土)
10:00 ~ 19:00

〔受付 9:15 ~ 町家交流館高田小町〕

会場：町家交流館高田小町、高田世界館
(新潟県上越市 / 高田駅から徒歩約 8 分)

定員：100 人 (先着順)



主催 | 上越市創造行政研究所
共催 | (一社) 雪国観光圏
信越自然郷 (信越 9 市町村広域観光連携会議)
協力 | NPO 法人街なか映画再生委員会、(株) テラスカイ
後援 | 新潟県、地域づくりネットワーク長野県協議会
(一社) 信州いいやま観光局
(公財) 八十二文化財団
信州大学学術研究・産学官連携推進機構
愛知大学三遠南信地域連携研究センター

開催趣旨

長野県と新潟県の県境をはさむ国内有数の豪雪地帯は、中山間地域や地方都市ならではの共通課題を数多く抱えています。魅力的な地域資源や意欲的な地域づくりの取組みも数多く存在します。この地域が将来にわたり豊かであり続けるためには、歴史的にもつながりの深かった近隣市町村の人々がお互いに関心を持ち、境界を越えて交流・連携することが大切と考えています。そこで、信越県境に近い各地域において地域づくりに取り組む方々からお集まりいただき、学びと交流を深める会を開催することになりました。

10:00 ~ 10:30

開会あいさつ・趣旨説明

【高田世界館】

10:30 ~ 12:15

トークセッション第1部

【高田世界館】

「歴史文化と地域づくりー 上杉家ゆかりの地域資源を手がかりにー」

地域づくりにおいて、私たちの地域の歴史をふりかえることは基本であり、地域の歴史に詳しい学芸員と地域づくりに関わる人が交流し、学びを深めることの意義は大きいものがあります。

このセッションでは、かつて信越県境を越えて統治していた「上杉家」を事例に取り上げます。上杉家ゆかりの地域資源といわれるもの、未来へつなげていきたい地域資源にはどのようなものがあるか、そもそも地域づくりにおいて歴史に関わる資源とどのように向き合えばよいのか、この地で活躍する学芸員からの話題提供をきっかけに、会場の皆さんと共に考えます。

スピーカー

福原 圭一さん (新潟県上越市)

上越市公文書センター 上席学芸員

1968年東京都生まれ。信州大学人文学部で日本史を専攻。平成8年上越市役所へ入庁、平成16年度まで市史編さん室で中世史部会を担当。『上越市史』上杉氏文書集一・二、通史編中世などを刊行した。

市史編さん事業終了後は、公文書館準備室を経て、平成23年4月から公文書センターに。日頃は、専門の戦国時代からは離れて、市役所全体の文書整理に従事している。

趣味は博物館巡り。

来春、念願の勉強部屋と書庫のある家へ引っ越すが待ち遠しい。



佐藤 慎さん (新潟県妙高市)

妙高市生涯学習課 学芸員

1976年新潟県新井市(現妙高市)生まれ。大学時代に日本考古学を専攻。2000年妙高市役所に入庁以降、教育委員会で文化行政に従事。国・県・市の文化財指定、史跡等の活用に向けた保存・整備、地域住民でつくる保存団体の活動支援などを行っている。

これまでに調査した文化財には、斐太遺跡・観音平古墳群、鮫ヶ尾城跡、銅造菩薩立像、宝蔵院日記、関山神社火祭りなどがある。現在、旧関山宝蔵院庭園の修復整備工事を手掛ける。時間があれば子どもと釣りや昆虫採集に出かけている。



樋口 明里さん (長野県長野市)

長野市立博物館 学芸員

1991(平成3)年長野県長野市生まれ。民俗学を主に専攻。生活用具や、祭礼・芸能にかかわるものを扱う。これらの資料の調査をし、資料整理・活用について考えている。

博物館では展示も担当し、これまでに小正月のツクリモノ、こなもの、雛人形などの展示を行ってきた。現在は、近世芸能(人形浄瑠璃や歌舞伎)に取り入れられた川中島の戦いを題材とした展示の準備を行っている。

大学生の頃に人形芝居の調査をした。現在は余暇に人形劇に取り組んでいる。



宮澤 崇士さん (長野県飯山市)

飯山市ふるさと館 学芸員

1982年長野県牟礼村(現飯綱町)生まれ。学生時代は日本史を専攻。大学卒業後は自治体史編纂のアルバイト、資料保全活動のNPO団体の研究員、博物館専門員など職を転々とする。今年度から飯山市役所に就職。

これまで、松代藩の家臣团组织に関する研究を中心として、いくつかの研究成果を発表してきた。

学生時代はソフトテニス部に所属していたが、現在スポーツ等はせず、専らテレビで野球観戦することが楽しみになっている。



モデレータ

笹本 正治さん (長野県千曲市)

長野県立歴史館長・信州大学名誉教授

1951年山梨県生まれ。名古屋大学文学部助手、信州大学人文学部助教授、教授、信州大学地域戦略センター長、副学長などを歴任し、2016年から現職。この間、戦国大名武田氏や真田氏などの実態解明、職人史・商人史、災害史など、日本の戦国時代を中心にして多方面から研究を実施。「歴史学」は人類がよりよい未来を構築していくために必須の学問との考えから、歴史館長としての業務のほか、歴史や地域づくりに関する講演活動、県内各地の自治体史の編纂委員や各種審議会委員などを務める。

著書は『甲信の戦国史』、『修験の里を歩くー北信濃小菅ー』など多数。趣味は旅行。



12:15 ~ 13:30

昼食

高田小町(多目的ホール)を開放します。

ご希望の方には、地元食材を使った手作りお弁当をご用意します(お茶付き1,000円:予約制)



第1回は新潟県上越市、第2回は長野県飯山市、第3回は新潟県十日町市にて開催し、おかげさまで好評をいただいたことから、第4回を上越市で開催します。テーマには「上杉家」と「リノベーション」を取り上げ、この地域の過去・現在・未来を考えてみたいと思います。

この会をきっかけとして、このエリア一帯に存在する地域資源や取組みの素晴らしさを再発見できたり、今後の活動へのモチベーションにつながったり、あるいは情報交換や切磋琢磨できる関係が生まれ、未来の地域づくりのパートナーが生まれるきっかけになれば幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

13:30 ~ 15:30

トークセッション第2部

〔高田世界館〕

「リノベーションと地域づくり」

近年、空き家などを改装して新たな価値を加える「リノベーション」や、その取組みが近隣にじんわりと広がりエリア全体の価値を高める「エリアリノベーション」の動きが注目を集めています。この地域においても、そのような兆しを見せる取組みが生まれています。

これらの取組み事例から新たな地域づくりの考え方について学びを得たり、今後のさらなる展開に向けて参加者と共に考える機会とします。

スピーカー

藤村 勝之さん（新潟県上越市）
上越市企画政策課 地方創生担当係長

1981年新潟県上越市生まれ。2003年上越市役所に土木技師として入庁し、新幹線駅周辺の区画整理や高田公園の整備などに携わる。2013年から国土交通省北陸地方整備局、2015年から国土交通省都市局市街地整備課へ出向し、2017年から現職（4年ぶりに復職）。出向で全国のまちづくりを知るうちに、上越市の魅力や課題を再認識。市民が街に愛着を持てるまちづくりを目標に日々新しい企画を思案中。趣味は、スノーボード、バイク、釣り、キャンプなど。



小泉 嘉章さん（新潟県十日町市）
株式会社YELL 代表取締役

1971年静岡県生まれ。起業前は大手不動産会社の経営企画部門でグループ会社全体の戦略や改革、M&Aなどを担当。妻の両親の実家である十日町市にて、2014年に仲間4人と(株)YELLを創業。シカゴスタイルピザを提供するALE beer&pizza、ゲストハウスハチャネを運営する傍ら、東京の企業や第三セクターの経営コンサルタント、十日町市の移住促進事業や空き家バンク事業なども受託。最近は東京の大学生の課外授業の受託、周辺市町村へのイベント出店などを行う。



増澤 珠美さん（長野県長野市）
ナノグラフィカ 代表

1970年長野県明科町（現安曇野市）生まれ。信州大学教育学部卒業後、長野市権堂のライブアートスペースネオンホールの運営に参画。同時に公立学校常勤講師を6年間勤める。2003年、善光寺門前で企画・編集室ナノグラフィカを設立し、共同運営をはじめ。2009年、長野・門前暮らしのすすめプロジェクトを開始。以降、(株)まちづくり長野アドバイザー、長野市美術館アクトスペース企画委員などをつつ、人的・文化的資源の活用を中心とした「まちなか暮らし」の楽しみ方を実践、提案している。



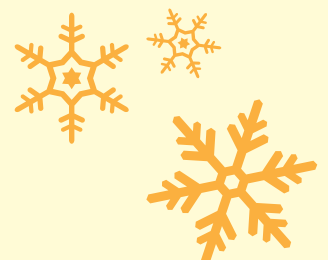
中尾 大介さん（長野県山ノ内町）
(株)WAKUWAKUやまのうち 監査役
八十二銀行融資部企業支援室 主任審査役

長野県長野市生まれ。1993年八十二銀行入行。5つの営業店で法人営業を担当後、アルピコホールディングス(株)へ出向。2013年から融資部企業支援室にて個別企業の経営改善支援や旅館の抜本策案件などを本部審査役として担当。並行し、観光活性化プロジェクトの専任担当に。2014年「(株)WAKUWAKUやまのうち」の設立をリード。2015年「ALL信州観光活性化ファンド」の組成を担当、同社監査役に就任。現在、地域経済活性化支援機構より派遣される同社の経営陣と連携・協力し、事業の安定化および若手人材の育成に関与。



モデレータ **梅干野 成央さん**（長野県長野市）
信州大学学術研究院工学系 准教授

1979年東京都世田谷区生まれ。信州大学大学院修了後、助教を経て2014年から現職。日本建築史学が専門で、地域にのこる歴史的建造物の保護（保存・活用）に取り組んでいる。松本市文化財審議委員会委員、安曇野市文化財保護審議会委員、NPO法人信州伝統的建造物保存技術研究会理事など。著書に『山岳に生きる建築—日本の近代登山と山小屋の建築史』（オフィスエム、2013）などがある。自身は、江戸末期にたてられた茅葺民家をリノベーションして住んでいる。



15:45 ~ 17:00

ディスカッション

〔高田世界館、高田小町、旧今井染物屋、(株)テラスカイなど〕

参加者同士で本日の感想などをおしゃべりしていただく時間です。
話し合いのテーマをいくつか設定しましたので、希望するテーマが同じ参加者同士でグループを作り、和気あいあいとくつろいだ雰囲気の中でふりかえりと交流を深めていただければ幸いです。

ディスカッションのテーマ

- A 第1部の感想と将来の希望を語り合う
- B 第2部の感想と将来の希望を語り合う
- C 本日の感想から中山間地域活性化を考える
- D 本日の感想からまちなかの活性化を考える
- E 本日の感想から観光振興を考える
- F 信越県境地域の魅力やつながりを発掘する
(地域で調べたい・語りたいテーマのアイデア出し)



会場は、高田世界館を含め近隣の歴史的な建物やリノベ建築などを予定しており、テーマによって異なります(当日発表)。会場によっては室温が低い場合もありますので、暖かい格好でご参加ください。

17:15 ~ 17:30

クロージング

〔高田世界館〕

17:40 ~ 19:00

情報交換会 (参加費 2,000円)

〔高田小町〕

信越エリアの地酒やワインと一緒に、地元の食材を使ったオードブルを召し上がりながら、参加された方々と交流しましょう。

交通アクセス

(受付、昼食等会場)

町家交流館 高田小町

上越市本町6丁目3番4号

☎025-526-8103

(トークセッション会場)

高田世界館

上越市本町6丁目4番21号

☎025-520-7626

- ・えちごトキめき鉄道高田駅下車徒歩約8分(約500m)。
- ・会場の駐車場は台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関でお越しください。お車の場合は、周辺の有料駐車場もご利用ください。

※有料駐車場料金の目安(8時~20時の場合)

- ・本町3.4.5丁目…30分毎に100円、最大料金500円
- ・あすとびあ高田…30分毎に100円、最大料金500円
- ・高田駅前…30分毎に100円。上限設定がありませんのでご注意ください。



鉄道時刻表

詳細は時刻表をご覧ください。

(ゆき) ※高田駅は着時刻、その他は発時刻。

越後湯沢 8:16	犀潟(乗換) 9:31	直江津(乗換) 9:44	9:52	高田	徒歩8分	会場
糸魚川 8:53						
長野 8:08	飯山 8:19	上越妙高(乗換) 8:45	8:50			
妙高高原 8:45		上越妙高 9:20	9:25			

(かえり) ※直江津駅や上越妙高駅で接続のとれる電車について、高田駅の発時刻のみ記載。

越後湯沢方面	18:31、19:22、20:32(最終)
糸魚川方面	17:50、18:31、19:54、21:08、21:39
長野方面(新幹線)	18:51、19:54、21:03
妙高高原方面	18:09、18:51、19:54、21:03

申し込み方法

下記ホームページから申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、上越市創造行政研究所宛までメール、ファックス等にてお申し込みください。

<http://www.city.joetsu.niigata.jp/site/souzou-gyosei/kenkyo-koryukai4.html>

《問い合わせ先》 上越市創造行政研究所

〒942-8563 上越市下門前 1770 番地 上越市教育プラザ内

Tel : 025-545-9206 Fax : 025-543-2876

Mail : souzou@city.joetsu.lg.jp